

請 願 文 書 表
(令和2年第3回定例会)

請 願 第 5 号	令和2年8月27日受理
付 託 委 員 会	文教経済常任委員会
件 名	次期中学校歴史教科書の採択に関する件
紹 介 議 員	塚 本 路 明 議員 林 利 彦 議員 林 隆 文 議員
請 願 要 旨	<p>次期中学校歴史教科書の採択は、教育基本法第2条（教育の目標）のもとに、「伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。」と明記され、中学校学習指導要領「生きる力」の総則に、「伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛し」が新たに明記されている通り、これらに即した中学校歴史教科書の採択を願う。</p> <p>平成27年度採択（平成28年から平成31年まで）の中学校歴史教科書のほとんどが、文部科学省の検定に合格したとはいえ、教育基本法及び中学校学習指導要領に沿ったものとは言い難い内容である。</p> <p>教育基本法が改正された平成18年12月以降、同法を根拠にした学習指導要領の改訂が重ねられてきたにもかかわらず、未だに大手出版社による旧態依然の教科書がシェアの9割近くを独占し、教育現場に教育基本法の目標の理念が反映されていない状況にある。</p> <p>よって、市に対し、次期中学校歴史教科書の選定においては、教育基本法第2条及び中学校学習指導要領の総則に明記されている事実を勘案した上での採択を強く求める。</p>